

## 2022 年度 ARCT 事業計画書

### ■ 2022 年度事業の方針

ARCT は昨年度、震災から 10 年の区切りを終えた。今後は、中長期的に継続した活動を行うために、新たな人材の育成や雇用と、効果的かつ適切な事業の実施、それに伴う事務局の運営体制の見直しを行う。

### ■2022 年度事業の実施に関する事項

活動テーマ「必要な人々に活動を届け続けるための団体とは」

#### 【1】「アウトリーチ」

昨年に引き続き、文化庁芸術家派遣事業を行う。事業運営のオンライン化を更に押し進め、新たな感染拡大に備える。また、宮城県心の復興事業の補助金を利用したオンライン見本市の定期開催を実施する。

#### 【2】「パートナーシップ」

大阪の DIVE、仙台の ARCT、熊本の SARCK の三団体により、2018 年に第一回を実施した「The First Action Project」を経て「国境なき劇団」を結成。次なる災害に向けた取り組みとして、過去の災害時の知見を共有し、今後起こりうる大規模災害に向け、迅速かつ、継続的活動としていくためのネットワークを形成する。

#### 【3】「ネットワーク」

事業全体バランスを考慮しお休み。

※ただし会員から事業提案がある場合は再稼働する。

#### 【4】「アーカイブ」

事業全体バランスを考慮しお休み。

※ただし会員から事業提案がある場合は再稼働する。

#### 【5】事務局

- ・事務局体制の見直し、継続可能な体制の基盤を模索
- ・会計業務の見直し
- ・Web サイトの再構築